



ブータン王立大学ジグメ・ナムゲル工科大学から感謝状を拝受



▲ブータン王立大学ジグメ・ナムゲル工科大学アンデュ・デュクパ学長からの感謝状を、NPO法人国際建設機械専門家協議会代表の白井氏(右)から手渡される芝井学長

関西大学は、2016年6月にブータン王立大学と基本協定を締結し、理工系学部の教員が中心となり、ブータン王立大学ジグメ・ナムゲル工科大学での機械工学科開設に向けて支援してきた。この度、ブータン初となる4年制の機械工学科が2019年7月に開設されることとなった。そこで8月7日千里山キャンパスで、NPO法人国際建設機械専門家協議会の白井一代表を通じて、同大学のアンデュ・デュクパ学長からの感謝状が芝井敬司学長へ手渡された。

感謝状には、「日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンス)」や「日本型教育の海外展開推進事業(EDU-Portニッポン)」での交流、本学元教員の緒方正則先生による現地指導など、4項目にわたる感謝の意が記されている。本学の長きにわたる理工系教育実績や知見を生かした協力を展開し、同国の更なる発展に貢献することが期待される。

2019年度より難民を対象とする推薦入学制度を導入

関西大学は2019年度入試より、日本国籍を持たない難民の就学をサポートするため、UNHCR難民高等教育プログラム(RHEP)による学生の受け入れを決定。関西大学で就学を希望する難民に門戸を開く。

本制度の導入により、多様な経歴を持つ学生の受け入れによるダイバーシティの推進などが期待される。今後は、関西で2校目となるRHEPのパートナー校として、国際社会への貢献を積極的に果たすとともに、国際的にも高まりつつあるSustainable Development Goals(SDGs:持続可能な開発目標)の推進にも寄与していく。

スポーツ庁「日本版 NCAA創設事業」に採択 学生アスリート向けキャリア形成支援プログラム『KSAP』が始動

関西大学独自の学生アスリート向けキャリア形成支援プログラム「KSAP(ケイサップ:KAISERS Student-Athlete Program)」の実践が、2018年度のスポーツ庁「日本版NCAA創設事業」に採択された。採択校は全国で15校。そのうち、関西からは本学のほかに、大阪体育大学、立命館大学、武庫川女子大学が選ばれた。

日本版NCAAは、全米体育協会をモデルとする大学横断的かつ競技横断的統括組織として、2018年度内に創設される予定。KSAPは、地域社会における健康増進、余暇の充実を担う指導者の育成を主たる目的とし、今後は学生アスリートに特化したキャリア形成のためのプログラム、ポートフォリオを活用した学生アスリートへの修学支援、褒賞制度や奨学金制度の活用など意欲向上のための支援を展開する。また、一般社団法人大学スポーツコンソーシアムKANSAIやNPO法人関西大学カイザーズクラブ、自治体等と連携し、関西の大学スポーツをリードする私立大学の一つとして、日本版NCAA創設に貢献することを目指す。

体育会バレーボール部女子が 春季リーグ戦で悲願の初優勝!

4月8日から開催された関西大学バレーボール連盟春季リーグ戦において、体育会バレーボール部女子が9勝2敗の成績を収め、創部以来初となる1部リーグ優勝を果たした。



写真提供：関大スポーツ編集部

また、優勝とともに個人賞の授与も行われ、最優秀選手賞とレシーブ賞に服部愛果さん(法4)、セッター賞に川西花菜子さん(人3)が選出され、メンバーと一緒に喜びを分かち合った。

全日本大学ソフトテニス王座決定戦で 田中純さん、中別府瑞希さんペアが準優勝



写真提供：関大スポーツ編集部

6月21日～24日、福岡県北九州市・穴生ドームで開催された第38回全日本大学ソフトテニス王座決定戦の女子ダブルスにおいて、体育会ソフトテニス部の田中純さん(人4)、中別府瑞希さん(文1)のペアが準優勝に輝いた。さらに、西岡真里華さん(文4)、中崎萌さん(文3)のペアが3位に入賞。女子団体でも、関西大学は3位という好成績を収めた。